

高等学校 令和 6 年度 (2 学年用)

教科 : 保健体育 科目 : 保健
 単位数 : 1 単位
 対象学年組 : 第 2 学年
 教科担当者 : (1・2・4・5組:岩田) (3・6・7組:歳桃)
 使用教科書 : 第一学習社 高等学校保健体育
 教科の目標 :

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。

- 【知識及び技能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力あるの生活を営む態度を養う。

科目の目標 :

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力あるの生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時間
1 学期	1 単元名 思春期と健康 【知識及び技能】 思春期に起こる心の変化や性意識の男女差について、正しい知識をもつことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 男女の性意識の違いについて知り、自らの行動に適切に反映することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 思春期の心の変化について知るとともに、男女の性意識の違いについても積極的に学習できる。	【使用教材】 個人端末、パワーポイント、ワークシート 【指導項目・内容】 1. 思春期の体と心の成長 2. 思春期における、男女それぞれの生殖器官の発達と責任ある行動の重要性	【知識及び技能】 思春期に起こる心の変化や性意識の男女差について、正しい知識をもととしている。 【思考力、判断力、表現力等】 男女の性意識の違いについて知り、自らの行動に適切に反映しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 思春期の心の変化について知るとともに、男女の性意識の違いについても積極的に学習しようとしている。				6
	2 単元名 結婚生活と健康 【知識及び技能】 結婚に関する制度と、家庭が健康に果たす役割について、正しい知識をもつことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 結婚の意義や家庭と健康のかかわりについて、自らの家族や将来に当てはめて考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 健康の保持・増進のために、家庭が担う役割について、積極的に調べることができる。	【使用教材】 個人端末、パワーポイント、ワークシート 【指導項目・内容】 1. 結婚に関する制度 2. 受精のメカニズム、妊娠から出産までの過程、胎児と母体の変化について 3. 家族計画と不妊治療	【知識及び技能】 結婚に関する制度と、家庭が健康に果たす役割について、正しい知識をもととしている。 【思考力、判断力、表現力等】 結婚の意義や家庭と健康のかかわりについて、自らの家族や将来に当てはめて考えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 健康の保持・増進のために、家庭が担う役割について、積極的に調べようとしている。				6
	3 単元名 加齢と健康 【知識及び技能】 加齢とは何か、壮年期以降にはどのような健康課題がでてくるのかについて知り、高齢社会における取り組みについて、正しい知識をもつことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 加齢による心身の変化について、自らの将来に当てはめて考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 加齢に伴う心身の変化や壮年期以降の健康課題、高齢社会における取り組みなどについて、積極的に調べることができる。	【使用教材】 個人端末、パワーポイント、ワークシート 【指導項目・内容】 1. 加齢に伴う心身の変化について 2. 壮年期以降の健康課題を知り、高齢社会における取り組みについて	【知識及び技能】 加齢とは何か、壮年期以降にはどのような健康課題がでてくるのかについて知り、高齢社会における取り組みについて、正しい知識をもととしている。 【思考力、判断力、表現力等】 加齢による心身の変化について、自らの将来に当てはめて考えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 加齢に伴う心身の変化や壮年期以降の健康課題、高齢社会における取り組みなどについて、積極的に調べようとしている。				2
2 学期	1 単元名 労働と健康 【知識及び技能】 労働者を守るしくみを知り、労働環境の変化にともなう健康問題について、正しい知識をもつことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 職業選択の際の注意点について、自らの将来に当てはめて考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 労働と健康のかかわりや健康生活を送るための職場・家庭・地域の役割について、積極的に学習できる。	【使用教材】 個人端末、パワーポイント、ワークシート 【指導項目・内容】 1. 労働者の健康・安全と健康 2. 労働災害・職業病とその予防 3. 労働者の健康づくりと働き方改革	【知識及び技能】 労働者を守るしくみを知り、労働環境の変化にともなう健康問題について、正しい知識をもととしている。 【思考力、判断力、表現力等】 職業選択の際の注意点について、自らの将来に当てはめて考えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 労働と健康のかかわりや健康生活を送るための職場・家庭・地域の役割について、積極的に学習しようとしている。				6

	単元の具体的な 指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 間
	2 単元名 環境と健康						
2 学 期	【知識及び技能】 地球環境の歴史と、生物多様性保持の重要性について正しい知識をもつことができる。また、環境汚染の現状などについて、正しい知識をもつことができる。	【使用教材】 個人端末、パワーポイント、ワークシート	【知識及び技能】 地球環境の歴史と、生物多様性保持の重要性について正しい知識をもつことができる。また、環境汚染の現状などについて、正しい知識をもととしている。				5
	【思考力、判断力、表現力等】 地球環境問題の原因を知り、解決のために必要な行動について考えることができる。	【指導項目・内容】 1. 地球環境問題 2. 大気汚染 3. 水質汚濁や土壌汚染 4. 廃棄物の処理と健康 5. 環境衛生活動	【思考力、判断力、表現力等】 地球環境問題の原因を知り、解決のために必要な行動について考えようとしている。	○	○	○	
	【学びに向かう力、人間性等】 地球環境の変化の歴史と、現在の問題点について、積極的に課題を見つけることができる。		【学びに向かう力、人間性等】 地球環境の変化の歴史と、現在の問題点について、積極的に課題を見つけようとしている。				
	1 単元名 食品と健康						
3 学 期	【知識及び技能】 食品による健康被害と、その予防のために行われている対策について、正しい知識をもつことができる。	【使用教材】 個人端末、パワーポイント、ワークシート	【知識及び技能】 食品による健康被害と、その予防のために行われている対策について、正しい知識をもととしている。				5
	【思考力、判断力、表現力等】 自らの食生活において、健康被害に遭わないために必要な行動を、適切に選択することができる。	【指導項目・内容】 1. 食品の安全性の確保保健・医療制度	【思考力、判断力、表現力等】 自らの食生活において、健康被害に遭わないために必要な行動を、適切に選択しようとしている。	○	○	○	
	【学びに向かう力、人間性等】 食品によって起こる健康被害や、防止のための対策などについて、積極的に調べることができる。		【学びに向かう力、人間性等】 食品によって起こる健康被害や、防止のための対策などについて、積極的に調べようとしている。				
	2 単元名 保健・医療制度と機関						
3 学 期	【知識及び技能】 保健・医療機関がそれぞれもっている役割やサービスについて、正しい知識をもつことができる。	【使用教材】 個人端末、パワーポイント、ワークシート	【知識及び技能】 保健・医療機関がそれぞれもっている役割やサービスについて、正しい知識をもととしている。				5
	【思考力、判断力、表現力等】 保健・医療機関の利用方法について理解し、自らの生活のなかで適切に利用することができる。	【指導項目・内容】 1. 保健・医療制度 2. 地域の保健機関・医療機関の活用 3. 医薬品と健康 4. さまざまな保健活動や社会的政策 5. 健康に関する環境づくりと社会参加	【思考力、判断力、表現力等】 保健・医療機関の利用方法について理解し、自らの生活のなかで適切に利用しようとしている。	○	○	○	
	【学びに向かう力、人間性等】 身近にある保健・医療機関の役割や場所、医療機関の利用法などを、積極的に調べることができる。		【学びに向かう力、人間性等】 身近にある保健・医療機関の役割や場所、医療機関の利用法などを、積極的に調べようとしている。				